

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
居住福祉論	木下 誠一	講義	2	建築士	1,2	1,3	1,2,3,4
授業概要 授業目的	高齢社会をふまえ、住み慣れた環境で安心して人々が生活を送れるよう、福祉の観点から居住環境について理解を深める。						
到達目標	高齢者等の行動特性を把握し、在宅ケアを念頭においたバリアフリーの住宅設計・改造に関する計画手法を身に着ける。						
回	学習内容						
1	ガイダンス、福祉住環境整備の必要性						
2	バリアフリーとユニバーサルデザイン						
3	福祉住環境に関連する制度・資格						
4	高齢者等の心身・行動特性 (1) 疾病						
5	高齢者等の心身・行動特性 (2) 障がい						
6	福祉住環境の共通整備方策						
7	場所別の具体的な整備方策 (1) アプローチ・玄関・廊下・階段						
8	場所別の具体的な整備方策 (2) トイレ・浴室・洗面所						
9	場所別の具体的な整備方策 (3) キッチン・寝室等						
10	福祉用具						
11	演習(1) 演習問題						
12	演習(2) 住宅のリフォーム提案①：杖歩行						
13	演習(3) 住宅のリフォーム提案②：車椅子対応						
14	発表						
15	まとめと確認						
予習内容 復習内容	予習：講義のテーマ毎に関連した文献等に目を通す。 復習：講義資料を読み返し、要点をまとめ、疑問点を調べる。						
教科書	教科書は使用しない。講義ごとに資料を配付する。						
成績評価	出席を毎回取る。6回以上欠席した場合には評価の対象外とする。 講義で適宜実施する小テスト(20%)、演習(80%)の成果により評価する。						
実務経験	一級建築士として建築設計事務所に勤務した経験を活かし、授業では実践的な計画・設計手法についても講義する。						
その他 特記事項							